事業シート（令和9年度予算）

事業名	21600　総合交通対策事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
担当課	都市政策部　都市計画課	内線	2363		目	17	総合交通対策費

総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備
		ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり
	分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観
		施策分野	(2)	公共交通

根拠計画	都市基本計画、地域公共交通計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通を確保する。 ・将来にわたって、持続可能な公共交通サービスを提供する。	概要	・効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 ・地域バス（のらマイカー）、中心市街地バス（まちなみバス）、観光特化型バス（匠バス）の運行 ・事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 ・同盟会活動による高山本線の輸送力強化やリニア中央新幹線の建設促進

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
市民1人当たりの地域公共交通（まちなみバス、のらマイカー、匠バス、たかね号）年間利用回数	2.29回		2.50回
「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	33.1%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		325,121	314,735	329,311			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　自主運行バス運行費　1/4、1/3　）	27,000	34,770	28,000			
	その他（　夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金　等　）	195,490	205,490	86,900			
一般財源		102,631	74,475	214,411			
新規・拡充	主な事業内容						
○	バス運行事業	307,600	298,975	308,200			
	交通空白地有償運送に対する助成	13,000	12,043	13,650			
○	公共交通利用促進のための助成	1,500	1,136	2,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	325,000 増減 (d)-(c)
355,911			26,600
34,000			6,000
			△ 86,900
321,911			107,500

要求額	説明
327,900	
13,650	
7,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・自主運行バス等延べ利用者数　のらマイカー　125,291人、まちなみバス 44,915人、たかね号 1,637人 ・匠バスの運行　延べ利用者数　13,338人 ・高山市公共交通活性化協議会の開催　4回 ・利用促進策の実施（のりものフェスタの開催、公共交通シンポジウムの開催、時刻表・企画切符作成ほか） ・交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 ・公共交通利用促進のための助成（高齢者、若年者等に対するパスポート発行、匠バス（観光特化型バス）利用者の駐車場利用料割引など） ・公共交通におけるバス路線・時刻表の見直し
評価等	・ヤングパスポートによる高校通学利用や、GTFS（時刻表や停留所などのオープンデータ）の整備で地図アプリを利用した公共交通のルート検索が可能となったことなどにより、のらマイカー、まちなみバス、たかね号及び匠バスの延べ利用人数が前年度比で約6,600人増加した。 ・地域公共交通計画の基本方針を踏まえつつ、市民や観光客にとって使いやすく分かりやすい公共交通とするため、見直しの方向性を決定した。
次年度以降の考え方（担当課）	・見直しの方向性に基づき、各取り組みを実施する。 ・利用促進策の実施（のりものフェスタの開催）に取り組む。 ☑ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・自主運行バスの利便性向上に必要な経費の計上 ・公共交通利用促進のための助成の拡充に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74100　都市計画推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	都市基本計画、中心市街地活性化基本計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	都市政策部　都市計画課	内線	2363		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	1	都市計画総務費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。	概要	・都市計画制度の活用等により土地利用の規制・誘導、都市施設の整備（計画）などを実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「保全と開発のバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じる市民の割合	31.7%		↗
「快適な住宅環境や公園、美しい景観が保たれている」と感じている市民の割合	63.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		33,171	26,398	2,493			
特定財源	国費（　）						
	県費（ 県移譲事務交付金 ）	30	30	30			
	その他（ 飛騨高山ふるさと基金繰入金、宿泊税　等 ）	14,500	13,000				
一般財源		18,641	13,368	2,463			

新規・拡充	主な事業内容						
	都市計画審議会	365	81	365			
○	都市計画図の更新						
	都市計画GISデータ更新	1,100	0	1,200			
	景観まちづくり刷新支援事業の事後評価	9,600	6,490				
	車両流入抑制事業	21,000	19,199				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 2,600 増減 (d)-(c)
69,899			67,406
30			0
69,869			67,406

要求額	説明
365	
67,400	
1,200	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・景観まちづくり刷新支援事業（平成29年度～平成31年度）の事後評価の実施 ・車両流入抑制事業（中橋周辺への大型バス流入抑制）の実施	
評価等	・景観まちづくり刷新支援事業の事後評価において、事業効果の発現状況や事業実施による環境の変化、社会経済情勢の変化等を分析した結果、本事業の効果を確認した。 ・中橋周辺への大型バス流入抑制の試行で、安全の状況、周辺道路や地域への影響などを調査し、一定の効果があることが確認できたことから、本格運用を開始した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、中橋周辺における歩行者の安全確保のため、観光バスの中橋での一方通行を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・都市計画図の更新に伴う航空写真の撮影に必要な経費を計上 ・都市計画決定に伴うGISデータ更新に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74500　緑地保全推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	緑の基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	都市政策部　都市計画課	内線	2313		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	4	景観保全総務費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・潤いとやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けることができる環境を整備する。 ・緑化意識の高揚を図る。	概要	・施設緑化用苗木の配布、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・間伐等による適正管理 ・里山保全に協力する所有者の拡大と奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数	659人		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		7,980	7,094	12,310			
特定財源	国費（　まちなみ環境整備事業費　）			30			
	県費（　　）						
	その他（　緑の基金収入、緑の基金繰入金　）	2,048	1,854	6,000			
一般財源		5,932	5,240	6,280			
新規・拡充	主な事業内容						
	緑地保全に対する助成	2,300	2,222	2,570			
	指定保存樹等管理に対する助成	1,000	951	1,000			
	市民ハイキング	300	262	350			
	樹木の管理	500	553	500			
	里山林の整備	2,500	2,285	6,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			8,000
12,220			△ 90
30			0
			△ 6,000
12,190			5,910

要求額	説明
2,470	
1,000	
350	
500	
6,500	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・松倉山、城山ハイキングウィークの実施　5月31日～6月8日　　659人 ・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付　68件 ・市指定保存樹等の管理に対する助成　14件 ・緑地保全事業用地購入（里山購入）　3件	
評価等	・緑と親しむ日等に実施するイベントは、前年度と同様に期間開催とするとともに、松倉山と城山コースの2コースで実施、原山にスタンプの設置箇所を増やすなど内容を変更した。期間中は雨天日が1日のみであった事もあり、参加人数は昨年に比べ増加した。引き続きアンケート結果を基に、開催期間、場所、形式について検討を行う必要がある。 ・里山保全のための所有者への奨励金交付や里山の取得について、効果の検証結果を踏まえ、新たな保全方法についての検討が必要である。	
次年度以降の考え方（担当課）	・緑と親しむ日等に実施するイベントについて、期間の設定やあらたな箇所やコースでの実施、景品内容等を検討して、継続実施する。 ・緑地保全のための里山の取得や奨励金のあり方について検討を進める。 ・保存樹等の適正な管理のため、引き続き助成を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・里山の景観を保全するための整備に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74520　無電柱化整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	景観計画、歴史的風致維持向上計画
					款	7	土木費			ポイント	2	快適で安全な環境づくり		
担当課	都市政策部都市計画課	内線	2313		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
					目	4	景観保全総務費			施策分野	1	土地利用・都市計画		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・無電柱化の推進により、防災性の向上、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の創出を図る。	概要	・無電柱化整備の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「町並み景観や農村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合			

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
特定財源	国費（　まちなみ環境整備事業費　1/2　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源							
新規・拡充	主な事業内容						
○	無電柱化の推進						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	0
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
15,000			15,000
7,500			7,500
7,500			7,500

要求額	説明
15,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	□ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R7完了 □ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	□ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R8完了 □ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・無電柱化整備の推進に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74600　公園管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	緑の基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(1)	自分らしく充実して暮らせる環境づくり		
担当課	都市政策部　都市計画課	内線	2313		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	5	公園管理費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民や観光客が公園やまちかどスポットなどを安全・安心・快適に利用できるよう管理し、潤いとやすらぎを感じることができるまちづくりを推進する。	概要	・都市公園及び地区公園の改修と維持管理 ・まちかどスポットの維持管理 ・市道の街路樹の維持管理 ・駅前広場等の維持管理

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
住民一人当たりの都市公園面積	9.6㎡		10㎡
「快適な住宅環境や公園、美しい景観が保たれている」と感じている市民の割合	63.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		264,389	254,191	334,784			
特定財源	国費（　公園長寿命化整備事業費　1/2　）			65,000			
	県費（　　）						
	その他（　宿泊税、夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金等　）	47,900	47,410	33,400			
一般財源		216,489	206,781	236,384			
新規・拡充	主な事業内容						
	指定管理施設の管理運営	30,730	29,876	31,000			
	直営管理施設の管理運営	118,574	113,924	131,784			
○	施設整備	94,600	89,906	172,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 272,100 増減 (d)-(c)
316,183			△ 18,601
55,000			△ 10,000
4,300			△ 29,100
256,883			20,499

要求額	説明
31,614	
132,778	
151,791	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・都市公園 36か所 及び 地区公園 34か所の維持管理 ・まちかどスポット 107か所 及び 街路樹 49路線の維持管理 ・公園施設長寿命化計画の策定 ・北山公園公衆便所改修工事 ・北山公園公衆便所改修に伴う園路等整備工事 ・あららぎ公園井戸整備工事	
評価等	・市が管理する都市公園及び地区公園のうち、利用頻度の多い公園などについて施設の維持管理コストの低減を含め、長寿命化の観点から計画的な整備を実施するため、公園施設長寿命化整備計画を策定した。（都市公園5か所、地区公園4か所） ・北山公園の公衆便所改修及び、あららぎ公園の井戸整備工事を実施した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・長寿命化整備計画について、引き続き対象公園の計画策定を行う。（都市公園3か所、地区公園3か所） ・長寿命化計画に基づき、城山公園の公衆便所等の整備を進める。 ・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行い、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理する。	☐ 維持・改善 ☑ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・長寿命化整備に必要な経費を計上（原山市民公園、スカイパーク）
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74700　歴史的環境保全整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	緑の基本計画、歴史的風致維持向上計画
					款	7	土木費			ポイント	1	自分らしく充実して暮らせる環境づくり		
担当課	都市政策部都市計画課	内線	2313		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	6	快適環境整備費			施策分野	3	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・人が集えるまちかどスポット等を管理し、市街地の利便性を高め周遊性の向上を図る。 ・まちかどの歴史的風致の向上を図る。	概要	・市道下三之町大新町線の歩行空間整備により周遊ルートの快適な環境を創出する。 ・東山遊歩道の老朽化した看板の再整備を行い、周遊者の利便性の向上を図る。 ・まちかどスポットの再整備を行い、周辺環境や歴史が調和する憩いの場を創出する。 ・横丁再整備を行い、誰もが楽しく・安全に歩ける「みち」を確保する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		0	0	34,300			
特定財源	国費（ まちなみ環境整備事業費 1/2、歴史的環境保全整備事業費 1/2 ）			10,000			
	県費（ ）						
	その他（ ）						
一般財源				24,300			
新規・拡充	主な事業内容						
	直営管理施設の管理運営			300			
○	まちなみ周遊歩行空間等の整備			34,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			0
91,300			57,000
40,500			30,500
50,800			26,500

要求額	説明
300	
91,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	□ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R7完了 □ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	□ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R8完了 □ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・周遊性向上のための歩行空間等の整備に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	